

令和4年度 新居浜市立別子小・中学校 学校評価

1 アンケート結果

※ 評価の平均値（あてはまる）4→3→2→1（あてはまらない）に基づいての評価平均値、最高評価は4となる。

令和4年度 別子小・中学校教育活動に関するアンケート							
項目	No.	内 容	児童	生徒	保護者	教職員	
Ⅰ 学 校 経 営	1	小・中学校は、教育計画の実現に向けて努力している。			3.6	3.6	
	2	小・中学校は、学校像・児童生徒像・教師像の実現に向けて努力している。			3.7	3.6	
	3	小・中学校は、HPや学校だより、参観日等を通じて開かれた学校づくりに努めている。			3.7	3.8	
	4	小・中学校は、児童生徒一人一人の感性と感動を大切する教育活動に努力している。	3.2	3.5	3.6	3.8	
	5	小・中学校は、持続可能な開発のための教育（ESD）を推進している。	3.7	3.8	3.5	3.7	
	6	中学校は、「未来を切り拓くリーダーの育成」を目指した活動をしている。	3.3	3.6	3.6	3.2	
Ⅱ 教 育 活 動	7	学校での各教科の授業の進み具合は十分である。			3.5	3.7	
	8	子どもは、授業の内容がよくわかると話している。	3.5	3.8	3.5	3.4	
	9	小・中学校や異学年間の交流学习や合同学習の時間は適切である。	3.7	3.5	3.5	3.8	
	10	週や月の日程は適切に組まれてある。			3.4	3.8	
	11	学校行事等の内容や実施時期は適切だ。			3.4	3.8	
	12	基礎・基本の知識や技能の確実な習得と応用力の伸長が図られている。	3.2	3.4	3.5	3.6	
	13	I C T機器（タブレットパソコン等）を使った授業がなされている。	3.5	3.6	3.7	3.6	
	14	自ら考え、判断し、主体的に実践する態度の育成に努めている。			3.6	3.8	
	15	進路学習が適切に行われている。	3.3	3.5	3.2	3.6	
	16	「学習のねらい」や「学習の流れ」を示した授業を行っている。			3.5	3.3	
	17	一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導を行っている。	3.8	3.8	3.4	3.6	
	18	学校や地域で、体験的・問題解決的な学習が行われている。	3.5	3.7	3.7	3.6	
	19	望ましい学習習慣や学習態度が身につく指導を行っている。			3.4	3.4	
	20	学校は、関心・意欲・態度を重視して適切に評価している。			3.5	3.6	
	21	基本的な生活習慣（挨拶・言葉づかい等）が身につく指導を行っている。	3.3	3.4	3.3	3.8	
	22	学校では、「合理的配慮」のある教育活動がされている。			3.4	3.7	
	23	子どもと教職員は、温かい人間関係作りができています。			3.5	3.8	
	24	安全に関して正しく判断して行動できるような取組がなされている。			3.5	3.8	
	25	教職員は、子どもをよく理解して指導している。			3.5	3.9	
	26	道徳の授業で心の育成に努めている。	3.2	3.6	3.5	3.7	
	27	「いじめ」を許さず、学級の仲間と良好な人間関係を築く取組がなされている。	3.8	3.9	3.5	3.6	
	28	教職員は、人権意識を強く持って指導に当たっている。			3.6	3.7	
	29	別子山地区での体験や経験を通して共生の心の育成に取り組んでいる。	3.8	3.8	3.5	3.8	
	30	子どもの救護の処置や連絡、新型コロナウイルス感染拡大防止対策は適切である。			3.4	3.9	
	Ⅲ そ の 他	31	学校と保護者との協力体制は適切である。			3.5	3.8
		32	学校と地域との協力体制は適切である。			3.6	3.7
		33	保護者と地域との協力体制は適切である。			2.8	3.7

なお、児童・生徒は14項目、教職員は49項目のアンケートを実施し、保護者アンケートと関連付けている。

2 アンケート結果より

(1) 教職員アンケート

アンケート34項目の内30項目で評価平均値が3.5以上で、高評価となっている。特に25「教職員は、子どもを理解して指導している」、30「子どもの救護の処置や連絡、新型コロナウイルス感染拡大防止対策は適切である。」全教職員が、少人数指導の利点を生かし、児童・生徒理解に努め、個に最適な教育を行おうとしていることが伺える。また、長引くコロナ禍において、依然、気を緩めることなく感染対策に努めていることも伺える。

6『中学校は、「未来を切り拓くリーダーの育成」を目指した活動をしている。』については、評価が3.0以上であるが一番低い。もう一度学び創生事業の理念に立ち返り、リーダーの育成に努めていきたい。

(2) 保護者アンケート

アンケート33項目の内19項目で評価平均値が3.5以上、他もそれに近い高評価となっている。項目番号2「小・中学校は、学校像・児童生徒像・教師像の実現に向けて努力している。」、3「小・中学校は、HPや学校だより、参観日等を通じて開かれた学校づくりに努めている。」、13で「ICT機器（タブレットパソコン等）を使った授業がなされている。」、18「学校や地域で、体験的・問題解決的な学習が行われている。」が特に高い評価を得ている。HPや学校だよりでの様々な情報発信、特に「別子ファーム」の取組はそれ以外でも多くのメディアでも報道された。また、新居浜市内でのイベント出展やESDフォーラムでの発表等も行った。それに加え、「ふるさと別子夏まつり」の12年ぶりの復活もあった。これらのことが、学校像・児童生徒像・教師像の実現に向けて努力、開かれた学校づくりや体験的・問題解決的な学習として印象付けられたと考える。タブレット持ち帰りもスムーズに行われている。

33「保護者と地域との協力体制は適切である。」は、3以下の評価となっている。中学校の1家庭を除く全ての保護者が、市街地在住のため、やはり恒常的に両者が活動していくことは難しい。

(3) 児童・生徒アンケート

アンケート15項目中12項目が評価平均値3.5以上でだった。特に高い評価となったのは、27『「いじめ」を許さず、学級の仲間と良好な人間関係を築く取組がなされている。』であった。教員が、生活日記「あゆみ」だけでなく寮生日誌も通して日記指導を行っていること、組織的に学年間だけでなく、小・中間でもよりきめ細やかに情報共有に努めていることが、児童・生徒の「いじめ」を許さない風土の醸成にも繋がっていると考える。8「授業の内容がよくわかる。」、17「一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導を行っている。」も、教職員の連携・協働が評価された結果と言えるのではないだろうか。また、5「小・中学校は、持続可能な開発のための教育（ESD）を推進している。」については、今後「別子ファーム」の取組等増々進化していくもの考える。

(4) 教職員アンケート（記述式）

『1 学習指導に関すること』

- 基礎学力をつけるための手立てを今後も続けたい。（中）
- 個に応じた指導ができています。（中）
- 様々な学力の生徒がいるので授業を進めていくのが非常に困難になっている。特別支援委員会などを通じて、学校全体で共通意識を持っていきたい。（中）

- 教員研修等で、主体的に学習に向かうための方策を考えていけたら有意義だと思う。(中)
- 学校に来られない児童・生徒に対しオンライン授業を行うなど、臨機応変に対応されおりとても良いと思う。(小)
- 少人数のよさを生かして学習に取り組むことができている。個人の進度や理解度に合わせた学習をしている。(小)

『2 生活指導に関すること』

- スラックス導入から約1年が経過し、今後さらにジェンダーフリーの校則を作りたい。生徒のことを最優先に考えながら、他校の取組や、社会の動向を踏まえながら、慎重に取り組みたい。しかし、現段階では、原則として今の「学校のきまり」に準じて、生徒に対応したい。(中)
- 教師が生徒に「こうしなさい」ではなく、「あなたはどうしたいの?」「先生にできることは何?」といったような声を掛けて、まずは生徒に自分の考えを持たせて、自律を促すような関わりをしていくのがよいと思う。(中)
- 命や人権に関わること以外は、基本的に強く怒る必要はないと思う(例えば、時間に間に合わなかったとか、指示したことができなかったなど…)。心理的安全性がない空間では、間違いを恐れったり、指示待ちの生徒になったりすると思っているので。指導の優先順位を踏まえうえで、指導の強弱を考えることが必要と感じている。(中)
- 児童・生徒の問題があれば、すぐに学校全体で考え、取り組むことができていると思う。私自身も対応の仕方を学ぶことができた。(小)
- 全教職員ですべての子を見ることができている。体育や給食の時間など、全校で活動する時間を有意義に使っている。(小)

『3 学校運営に関すること』

- 今後、英・数・理に特化した学校という今のスタイルから、総合的な学習の時間に力を入れた学校という形で学校をアピールすればよいのではここ数年思うようになった。寮生と地元の生徒の差を出さなくてよくなる工夫もより必要になってくる。(中)
→市教育委員会等と相談し、児童生徒にとって一番良い在り方を。
- 行事を減らそうとしている中で、新しい行事(講演・交流)等がどんどん増えているように感じます。確保されるべき授業時数が、しっかりと確保されているのか気になる。教員側から「いいな」と思うことや「やりたい」と思うことがたくさんあるのは、自分自身もそうなので分かる。子どもたちも、やってみると学びも多く、楽しかったと言っている。一方で、忙しさが増しているようにも感じる。行事の精選といいつつ、増えてしまっているのは気になる。現存の物を減らすのが最善なのかも含めて検討すべきかと思う。(中)
→行事の見直し、精選を行った。
- 現在、8時に職朝を行い、生徒の出欠席や健康状態を教職員で共有しているが、8時までには少なくとも学年団として生徒の状態を把握してほしい。職員朝礼をなくしてはどうか?

→以下のように試行期間を経て、決定したい。

1月中…職員朝礼の時間短縮に極力努め、職員間で共有したい報告・連絡・相談事項については、ミライムまたは職員室前のホワイトボ

ードで共有する。

2月…職朝を行わず、共有したい内容は、ミライムまたはホワイトボードで。

2月の終り頃、改めて話合いの時間を取る。

- 別子中の特長や実態を伝えられる人が、小学校の学校説明会や保護者説明会に参加して話した方がよい。対面の説明会では、パンフレットには書かれていないところを伝えていくことが大切だと思う。それが難しいなら、せめて説明用スライドを一度作成させてほしい。(中)
- 小規模なので風通しが良く、トラブルが発生しても即解決に向けて動くことができるのがとても助かる。が、その半面、少々のおきても大丈夫と慢心しがちなので、自分も気を付けたい。(中)

『4 立志寮に関すること』

- 引き続き、志を立て、基本的な生活習慣を身に付けられる寮運営をしてほしい。そのために、寮でのイベント、行事等、優先順位を大切にさせてほしい。
- 寮での活動が生徒の負担となっている場面があると感じる。何かを削るか、計画的に行えるようにアドバイスをする必要がある。
- 就寝時間が遅いのはやはり気になる。
- 寮の保護者アンケートの結果を受けて、寮での活動を保護者に伝える必要があると感じた。ホームページや寮生会報告のプリントなどを使って、発信していけるとよいのではないかと思う。それ以外の情報発信についてもアイデアがあればいただきたい。
→市教委担当者、管理人を含め3月中旬～下旬の間に話し合いを持ち、少しでも保護者の不安が減るような発信をしていけるようにする。
- 寮で子どもが困っている状況を「問題である」と感じている保護者が一定数いる。子どもなりに壁に当たりながら考えて、乗り越えようとしていることをなかなか理解してもらえていない印象がある。情報発信が少ないこともあるかもしれない。そう考えると、4月の段階でもう少し丁寧に寮での子どもたちの学び・成長についてお話する場を設けたいと感じた。
- 管理人と学校とで、教育方針等を細かくすり合わせながら運営することが大切。寮担当として、最近はその努力が欠けていたと反省している。
- 寮での生活は、「自律」と「協働」の力を伸ばして「自立」させる場所であって、勉強を強制させる場所ではないということを教職員と共有したい。強制させると自律は失われると考えているので。自律の中に、学習との向き合い方があるわけで、学習をすること（させること）が上位概念ではないと考えている。
- 寮のイベントや装飾を生徒自身が試行錯誤し、実行に写している姿に関心した。

3 学校評議員による学校評価（記述）

(1) 学校評価アンケート結果の感想

- 児童・生徒・教職員の点数に差が見られなくなり、同一認識に近づき良い傾向である。

- 33「保護者と地域との協力体制は適切である。」の保護者評価点は仕方ない事、交流が無さすぎた。
 - ほとんどの項目で3.5以上の高評価であることに、まずもって関心した。しかも、児童生徒、保護者、教職員ともに項目すべてが高得点である事に、教育活動にブレがないことが伺われる。
 - 子どもたちの成長が感じられる。学習や寮の活動、発表会へ向けての取組等、とても前向きで素晴らしいと感じた。
 - 保護者と地域の関わりについては、新型コロナウイルス感染症対策のため距離の問題があるので、難しいと思う。
- (2) 児童生徒の良い点や伸ばす必要がある点について
- 現状の教育指導でお願い致します。
 - 児童生徒と対面しても、素直な生活態度とまっすぐな姿勢が感じ取れ、好印象である。別子ファームの活動は、子どもたちにとって非常に生活の基本を知ろうえでも素晴らしい活動であると思われる。これからも無理なく活動してほしい。
 - 明るく前向きで勉強熱心。意欲が感じられる。
- (3) 学校や教職員に対してのご意見
- 児童・生徒・保護者・教職員そして地域住民との交流の場を増やす。例えばPTA奉仕作業では別子山消防団との避難訓練・消火活動及び応急処置訓練を行う。ふるさと別子夏祭りでは連合自治会にも呼び掛けて屋台等の出店を増やし、保護者の方、地域の方にも喜んで頂ける最高のイベントに。PTA会長杯、公民館長杯、連合自治会長杯などの交流スポーツ大会を実施。
 - 先生方、遠距離の通勤大変ご苦労様です。子どもたち一人一人の学力に合った指導はさぞかし大変であろうと思われます。保護者はもちろん、あとは先生方の指導で、子どもたちの行く末がきまるものと思われます。大変でしょうがよろしくお願ひいたします。
 - 別子ファームの活動は今後も継続してほしい。
- (4) その他
- 毎年のことですが、「学習成果発表会」は感動致した。自分に直接関係する児童・生徒がいなくても、聞いて、見ておきたいと思う。
 - 「ふるさと別子夏祭り」を中学生中心に開催して、以前の盆踊り大会を思い出した。地域には色々な職場、団体が有る。遠慮せず、児童・生徒が中心となり地域の人達を引っ張り込んで欲しい。
 - 寮生会で活発に話し合い、地域をもっと元気にするイベントを考えて欲しい。
 - 中学生の生活態度や授業態度を参考に、小学生の児童の動きも良さがにじみ出ていると感じる。これからも、学校生活がより楽しく、生きがいを見い出せるものになることを願っている。
 - 学習成果発表会での様子を拝見して、感動してうるうるとなってしまった。常々、感じているが、学校の力は本当にすごい。これからも体調を崩すことなく元気に別子山で生活して欲しい。